

# 地場産業の連携による取り組み



公益財団法人 神戸ファッション協会

# 【組織概要】

## 【ファッション都市宣言】

1973（昭和48）年1月4日に開催された「新年合同祝賀会」の席上で、砂野仁神戸商工会議所会頭（当時）から神戸の「ファッション都市づくり」が提唱された。

## 【設立経緯】

- 1989（平成元）年の京阪神3都市で開催した「ワールドファッションフェア'89」の成功を契機に、生活文化産業振興のための中核組織の必要性が提唱された。
- 神戸商工会議所を中心に協議を重ね、貝原俊民兵庫県知事、笹山幸俊神戸市長、石野信一兵庫県商工会議所連合会会頭・神戸商工会議所会頭が発起人代表となり、1991（平成3）年5月に任意団体（会長：石野信一会頭）として発足した。
- その後、財団法人への移行を進め、兵庫県・神戸市拠出の2億円に加え、神戸を中心とする県内の関係企業・団体からの出捐を得て、基本財産5億6,276万円（県・市含む178企業・団体）をもって、1992（平成4）年8月に財団法人の設立（会長：牧冬彦会頭）に至った。

- 1991(平成3)年5月27日 神戸を中心とする兵庫県内の「衣・食・住・遊」全般にわたる生活文化産業振興のための中核組織として発足（任意団体）
- 1992(平成4)年8月25日 財団法人化
- 2012(平成24)年4月1日 公益財団法人化
- 2023(令和5)年1月 ファッション都市宣言50周年

会 長	小田 俱義 (株)イズム 代表取締役社長 (5代)	
	〔歴代会長〕	(初代) 石野 信一 (2代) 牧 冬彦 (3代) 鬼塚 喜八郎 (4代) 田崎 俊作
副 会 長	大月 京一 (株)大月真珠 代表取締役社長 山口 信二 モロゾフ(株) 代表取締役社長 白樫 政孝 剣菱酒造(株) 代表取締役社長 高瀬 英夫 (公財)北播磨地場産業開発機構 理事長	
基本財産	558,425千円 ※2024年3月31日現在	
事業規模	69,500千円 ※2024年度経常費用予算	
賛助会員	108会員（企業 67、団体 30、個人 9、特別 2） ※2024年6月現在	
事 務 局	神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館6階	

兵庫県は  
北と南に海があり、山がそびえる、豊かな自然に育まれた衣食住遊すべてが揃う県。

産地横断での地場産業支援を！



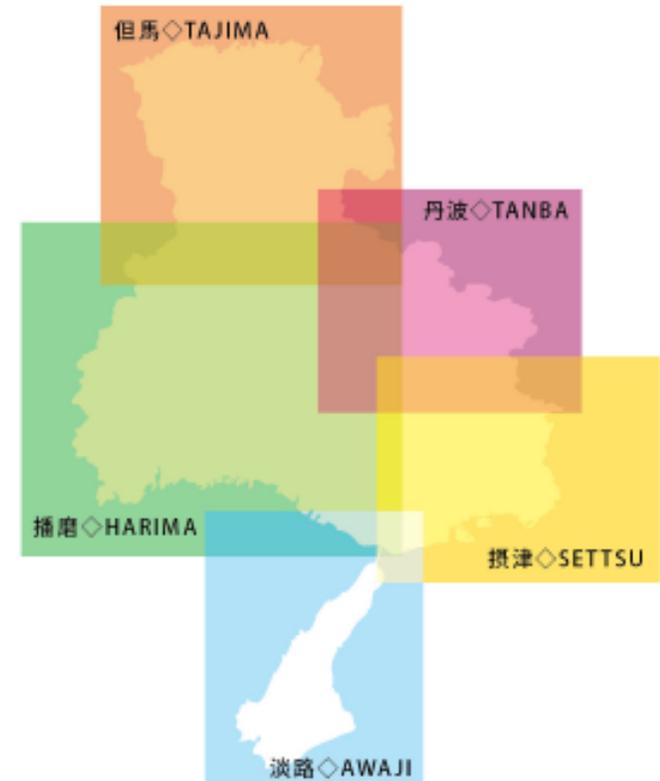
<企画の主旨>  
兵庫県内5国  
(摂津・播磨・丹波・但馬・淡路)  
それぞれの国の  
産業や技術に注目！！

次代を担う各地の  
アーティスト、クリエイター、  
職人の技を繋ぎます。  
兵庫県の  
モノづくりの素晴らしさを  
世界に発信するプロジェクトが  
スタートします。

2022年スタート



HYOGO産を  
世界に発信する  
PROJECT



【商標登録】 第6695385号・第6695386号  
【協力】 (一社) 兵庫県発明協会

## 4年間の事業スケジュール

2022年度 神戸市内スタート（大丸神戸店）



2023年度 神戸市内（大丸神戸店）  
その他（大丸札幌店、首都圏）



2024年度 神戸市内（大丸神戸店）  
その他（調整中）



2025大阪・関西万博

神戸アパレル、神戸靴、日本酒（清酒）、神戸家具、マッチ、皮革、播州織、利器工匠具（三木金物）、家庭刃物（小野金物）、そろばん、丹波立杭焼、豊岡のかばん、線香 他・・・

神戸アパレル、神戸靴、日本酒（清酒）、神戸家具、靴下、マッチ、皮革、播州織、利器工匠具（三木金物）、家庭刃物（小野金物）、そろばん、丹波立杭焼、豊岡のかばん、杞柳製品、線香、粘土瓦（淡路瓦） 他・・・

神戸アパレル、神戸靴、日本酒（清酒）、神戸家具、靴下、マッチ、皮革、播州織、利器工匠具（三木金物）、家庭刃物（小野金物）、そろばん、丹波立杭焼、豊岡のかばん、杞柳製品、線香、粘土瓦（淡路瓦） 他・・・

国内外で兵庫県のモノづくりをPR  
兵庫県の技術を世界に発信！

# < TARGET >

## 地域コミュニティとの共生・連携を図る、新たなコミュニティ

### 新しい価値観を常に楽しむ人たち = 「伝統と歴史、技術の中から新しい価値観を発見する人」

#### ■ Ageless 年齢に関係なく

年齢にとらわれず、自分の価値観やスタイルを持っている人。  
(団塊ジュニアを中心にZ世代まで広がる価値観)

#### ■ Life Commitment 生活にこだわり

納得したものにはお金を惜しまない。

働くスタイルも変化させ、

無駄は省き、自分にあったモノ、コトを探し出す。

#### ■ Connection つながり

地域、仲間、家族、友人、恋人の大切さを知り、大切にする。

SNSを使いこなし、また、SNSを使わない選択も出来る人。

#### ■ Experience 経験をする

震災や疫病も経験し、何が大切かを考えられる人。

体験することでモノの価値を感じ、LIVEやワークショップなど

見て、触って、五感体験を重視する人。



2022年スタート

# 兵庫県のモノづくりの素晴らしさを世界に発信するPROJECT



【地場産業(10産地)】日本酒(清酒)・利器工匠具(三木金物)・杞柳製品・豊岡のかばん・播州織・線香・マッチ・丹波立杭焼・皮革・家庭刃物(小野金物)



# 5 国の地場産業のご紹介！ Introduction 2022

21

2022年(令和4年)8月30日 火曜日

不申 戸 業 界

(第3種郵便物認可)

(PR特集)

## 「ひょうご国 ~HYOGO産を世界に発信するPROJECT~」始動



兵庫五国の産地のデザイナーによるコラボレーションで生み出された製品は8月31日(水)~9月27日(火)、大丸神戸店で展示される。

「播州織×皮革」(バッグ2点、小物1点)▽「豊岡のかばん×皮革」(バッグ3点)▽「皮革×日本酒」(お酒バッグ1点)▽「日

### 大丸神戸店で展示会を開催

あすから来月27日

本酒×丹波立杭焼×弓削牧場」など。既存商品の販売もある。

また、9月23日に神戸市の京町筋で開かれる「Autumn Festival in KOBE」でも披露する。今後は新たなデザイナーも加わり、国内外でアピールする機会を増やしていく予定だ。

兵庫五国に息づき、進化を続ける多彩な地場産業。現代風にアレンジされた商品や、それぞれの地域のコラボから生まれた商品を発信し、育てていくプロジェクト「ひょうご国」HYOGO産を世界に発信するPROJECT」(公財財団法人神戸ファッション協会主催)がスタートする。第1弾として8月31日(水)から9月27日(火)まで大丸神戸店で展示会を開催。大阪・関西万博開催の2025年を見据え、国内外にアピールし、インバウンドを観光誘致につなげる。

「ひょうご国」は、それぞれの五国(摂津、播磨、但馬、丹波、淡路)で活躍するアーティストやクリエイター、職人をつなぎ、新たな産品を創出することを通じ、県内のものづくりや携わる人たちの魅力を発信するプロジェクトだ。

今回、取り上げる地場産業と代表デザイナーを紹介する。

# 兵庫のモノたち



丹波立杭焼

丹波篠山市今田地区付近で作られ、「灰被り」という独特の色と模様が特徴。登り窯で焼かれる間に、燃料である松の薪の灰と、土に含まれる鉄分や釉薬が溶け合っており、学反応を起し、独特の色や模様が現れる。

### お菓子



神戸で初めて製造された洋菓子は、亀井堂本店の「瓦煎餅」。大正時代伝承したM・ゴンチャロフ、F・モロゾフらから本場の洋菓子づくりが持ち込まれた。その後、日本人による創意工夫で神戸独特のスイーツ文化が形成された。

## 五国の地場産業に注目



日本酒

灘五郷(神戸市・西宮市は水宮水、米(山田錦)、技(丹波杜氏)に優れた「日本一」の酒蔵。江戸時代、伊丹・西宮・灘の酒家たちが樽廻船によって賣の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築いた。

### 線香



1850(嘉永3)年田中辰蔵が泉州堺で線香製造の技法に触れ、熟練職人と技術を淡路に持ち帰った。良港を有し、原材料の搬入と製品輸送に便利であったことや、気候が線香づくりにマッチしている。海外でも高い評価を得ている。

# 世界に羽ばたけ



豊岡のかばん

豊岡産地に自生していたコウリヤナギを原料にした柵柳細工で作られた籠が起源。現在は、国内最大級のかばんの生産地として環境に配慮した製品なども展開し、各社が自社ブランドの確立に取り組んでいる。



播州織

1792(寛政4)年に宮大工の飛田安兵衛が京都・西陣から織物製作の技術を導入したことが始まり。先に染め上げた糸で柄を織る「先染め」が特徴で、シャツやストールなどに仕上げられる。品質の高さから世界的ブランドの生地にも採用されている。

## 作り手の技と魅力紹介



皮革

弥生時代後期に渡来犬から鞣製技術が伝わり、その基礎が築かれた。姫路市、たつの市は古くから皮革1次製品の、なめし革の生産拠点として発展し、多くの工場が独自の技術を開発して、全国有数の高級の皮革産地に成長している。

# 5国から 代表アーティストをご紹介します！ Introduction 2022

2022年(令和4年)8月30日 火曜日

神戸新聞

## 「ひょうご国」展示会で紹介されるアーティストの皆さん



小林 新也氏  
シーラカンス食堂  
(小野市)

2011年に「合同会社シーラカンス食堂」を地元の小野市に設立。播州刃物や播州そろばんなどのブランドデザインから商品開発、地域財産を世界市場へ向け「伝える」ことに注力した販路開拓に取り組んでいる。



市野 健太氏  
雅峰窯  
(丹波篠山市)

伝統技法による「しのぎ」シリーズ、トルコブルーの釉薬を使った「a o」シリーズのほか、丹波の土を生かした登窯焼成による作品を制作。丹波焼の伝統を守りつつ新しいアプローチで器作りに取り組み、「用と美」にこだわり、和を大切にしながら現代にもなじむモダンなデザインで日常生活を彩る。



片山 喜市郎氏  
スタジオキイチ  
(神戸市)

神戸・元町に1917年に創業した靴店の4代目。革職人としてレクサス主催「TAKUMI PROJECT」の兵庫県代表に選出され、そのものづくりへの思いは全国に発信されている。2019年に神戸牛の皮革ブランドینگをする神戸レザー協同組合の理事長も務める。



玉木 新雌氏  
tamaki niime  
(西脇市)

理想の布を探し求めるうちに播州織に出合い、西脇市に移住。播州織をアレンジした「新たな播州織」を生み出す。ショップ「tamaki niime shima」では、自分たちで使って、味わって、作り手と話して使い続けたい、作り続けてほしいものをセレクトしている。



堀内 康広氏  
トランクデザイン  
(神戸市)

地場産業のプロデュースやブランディング、百貨店広告などのディレクションやデザインまで行う。「Hyogocraft」では、兵庫県の間伐材を使用したオリジナルプロダクト「森の器」、播州織の職人をつくるアパレルブランド「IRODORI」「meguru」も手掛ける。



下村 浩平氏  
Maison Def  
(豊岡市)

豊岡市のカバンストリート内にあるアトリエ&ショップ「Maison Def」の代表。バッグを中心にさまざまなアイテムを取りそろえており、職人によるデモンストレーション、アーティストによる個人展など五感すべてを刺激する「ここでもしか出会えない特別な空間」を提供している。



# 5国を代表する アーティストの技術をかけ合わせます！ Collaboration 2022



日本酒（清酒）× 皮革



豊岡のかばん × 皮革



播州織 × 皮革



神戸家具 × 皮革



利器工匠具（三木金物） × 皮革



丹波立杭焼 × 線香



丹波立杭焼 × 日本酒（清酒）



神戸靴 × 皮革

# 2022年8月31日大丸神戸店 開会式 6階 M BASE+紳士洋品



# 大丸神戸店

1階 イベントスペース (2週間)  
6階 M BASE + 紳士洋品 (4週間)

第1週 : 地場産業全体  
第2週 : 播州織  
第3週 : 日本酒 (清酒)  
第4週 : 丹波立杭焼



# 5 国の地場産業のご紹介！ Introduction 2023

## ひょうご国 ~HYOGO産を世界に発信するPROJECT~ 9月6日から大丸神戸店で展示会

兵庫五国の豊かな風土に息づき、伝統を継承しながら常に進化している地場産業。現代風にアレンジされた商品や、地域を超えたコラボレーションから生まれた商品を発信し、成長させるプロジェクト「ひょうご国~HYOGO産を世界に発信するPROJECT~」の展示会(神戸ファッション協会主催)が9月6~19日、大丸神戸店で開催される。

# 豊かな風土が育むモノ



### 播州織

1792(寛政4)年に宮大工が京都・西陣から織物製作の技術を持ち帰って北播地域に広まった。先に染め上げた糸で柄を織る「先染め」が特徴で、シャツやストールなどに加工。品質の高さから国内外のブランドの生地にも採用されている。



### 神戸アハレル

戦後の神戸に新しく生まれた産業。商品の企画・デザインと卸機能を中心に成長してきた。ブラウスやニットなどの婦人服をはじめ、子供服やベビー用品など高級感の漂う商品は「神戸ファッション」として高い評価を受けている。

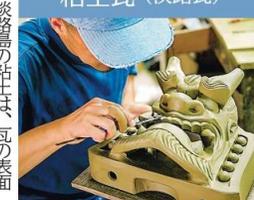
### 杞柳製品

豊岡盆地に自生していたコウリヤナギが原料の籠細工で、2000年の歴史がある。江戸時代に藩の保護奨励で発展した。明治時代に行季がはんな生まれ、大正時代にモダンなバスケットが流行。現在は新しいデザインを取り入れた商品も。



### 粘土瓦(淡路瓦)

淡路島の粘土は、瓦の表面に炭素膜を作る「いぶし」加工が特徴。強固に仕上がり、いぶし銀に美しく輝く。伝統的な和建築だけでなく、洋風住宅や美術館などの公共施設のほか、近年は外構やガーデンの景観材としても利用される。

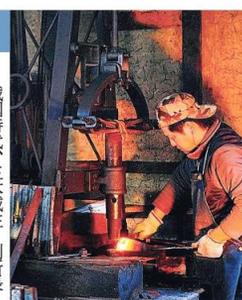


### 日本酒

灘五郷(神戸市、西宮市)は水(宮水)、米(山田錦)、技(丹波杜氏)に優れた「日本一の酒どころ」と言われる。江戸時代、伊丹、西宮、灘の酒造家たちが樽廻船で上質な酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築いた。

### 利器工器具

戦国時代、三木城主・別所長治と豊臣秀吉の戦いで町が消失。復旧のため各地から大工職人とともに大工道具を作る鍛冶職人も多く集まり、金物の町として発展した。伝統的な和鉄・和鋼の鍛錬によって鋭い切れ味を誇る。



「ひょうご国」兵庫津・播磨、但馬、丹波、淡路の兵庫五国で活躍するアーティストやクリエイター、職人をつなぎ、新商品の創出を通して県内のもつくろと携わる人たちの魅力を国内外に発信するプロジェクトで、2022年度からスタートした。本年度は展示会を9月20日から大丸神戸店、10月10日から東京ビッグサイトでも開催。また会場での催事出展も目指しており、国内外でのプロモーション展開に力を入れていく。大丸神戸店の展示会で取り上げる地場産業や産地のコラボ商品を紹介します。

9月に札幌、10月に東京でも

ひょうご国  
Hyogo Koku



進化し続ける地場産業紹介

### 洋菓子

1868(慶応4)年の兵庫(神戸)開港を機に西欧文化が流入し、大正時代にはM・ゴンチャロフ、F・モロゾフ、K・ユーハイムらが本場の洋菓子作りを持ち込んだ。洋菓子文化の根付いた神戸・兵庫地域はスイーツ激戦区に発展した。

# 5国を代表する アーティストの技術をかけ合わせます！ Collaboration 2023-①



神戸アパレル × 皮革

# 5国を代表する アーティストの技術をかけ合わせます！

## Collaboration 2023-②

播州織の生地を生かす！  
素材は用途に合わせて変更しています。



播州織 × アパレル



豊岡のかばん × 播州織 × 皮革



杞柳製品 × 播州織 × 皮革



神戸家具 × 播州織 × 皮革



# 5国を代表する アーティストの技術をかけ合わせます！ Collaboration 2023 - ③



丹波立杭焼 × 珈琲



豊岡のかばん × 皮革



洋菓子 × 播州織



神戸靴 × 皮革

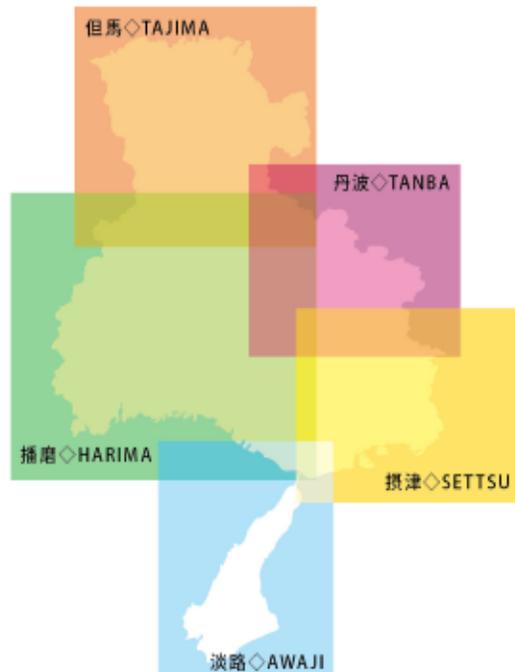


日本酒（清酒） × 皮革

# 5国を代表する アーティストの技術をかけ合わせます！ Collaboration 2024



## 5国 (摂津・播磨・丹波・但馬・淡路)



## 海外デザイナー等との 連携

2025年  
国内及び海外への販路

(調整中)

2025大阪・関西万博



# 5 国の地場産業のご紹介！ Introduction 2025

テーマウィーク

未来への文化共創ウィーク

期 間

4/26 (土) ~ 4/30 (水) 計5日間  
※4/25(金)は搬入日、5/1(木)は搬出日の予定

会 場

大阪・関西万博会場 ギャラリーWEST

主 催 者

兵庫県・(公財)神戸ファッション協会

イベント名

ひょうご国 HYOGO産を世界に発信するプロジェクト2025

概 要

アーティストやクリエイター、職人をつなぎ、  
新商品の創出を通じて兵庫県内のものづくりと  
それに携わる人達の魅力を発信する。



兵庫県は  
北と南に海があり、山がそびえる、豊かな自然に育まれた衣食住遊すべてが揃う県。

KOBE  
FASHION  
ORGANIZATION



HYOGO産を  
世界に発信する  
PROJECT



ひょうごフィールドパビリオン

**Our Field, Our SDGs**

私たちのフィールド、私たちのSDGs

---

ご清聴ありがとうございました。

---